

津軽自動車道 柏～浮田 第1回意見聴取

－ クロス集計結果 －

国土交通省 東北地方整備局
平成27年 8月 5日

目次

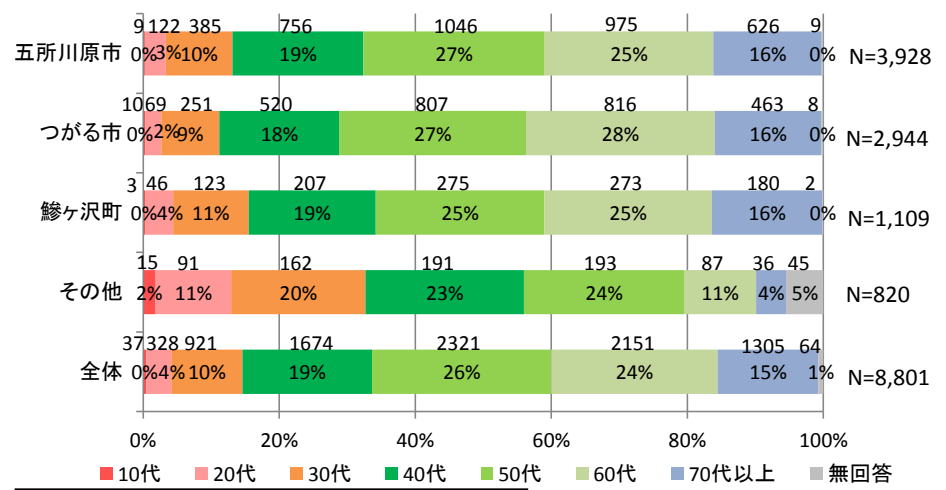
住民アンケート クロス集計結果

1. 属性別分析	・・・ 2
2. 利用頻度、利用目的の分析	・・・ 5
3. 課題の分析	・・・ 9
4. 必要な機能の分析	・・・ 11

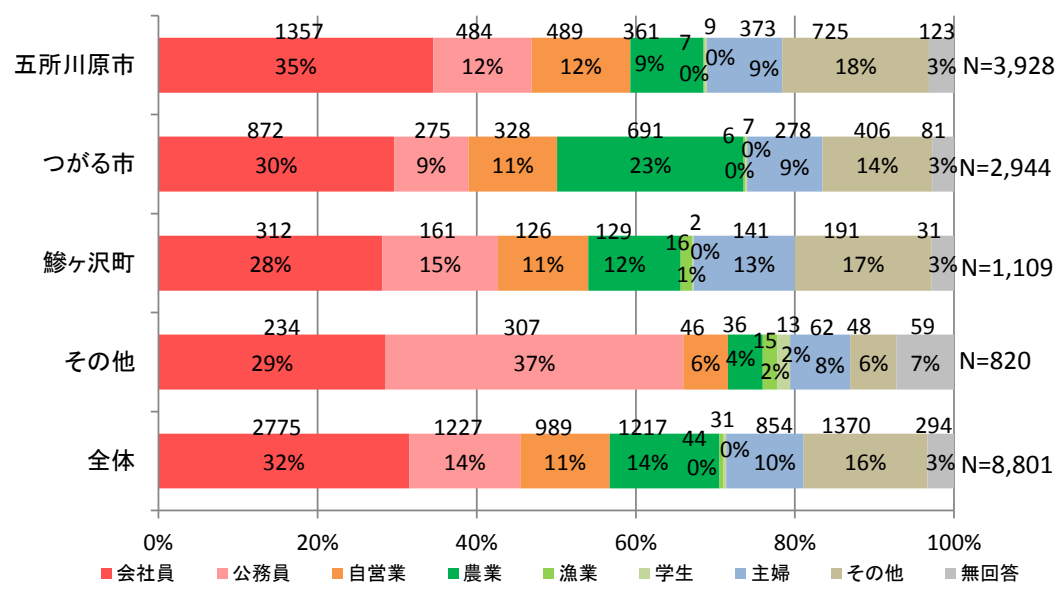
住民アンケート 属性別分析 1 居住地別

- ◆居住地別年齢は、対象地域では年齢の偏りはないが、その他地域の回答者は50代までの割合が多い
- ◆居住地別職業は、対象地域ではつがる市の「農業」の割合が多い
- ◆居住地別性別は、鱒ヶ沢町では回答者の女性の割合がやや多いが概ね同様である

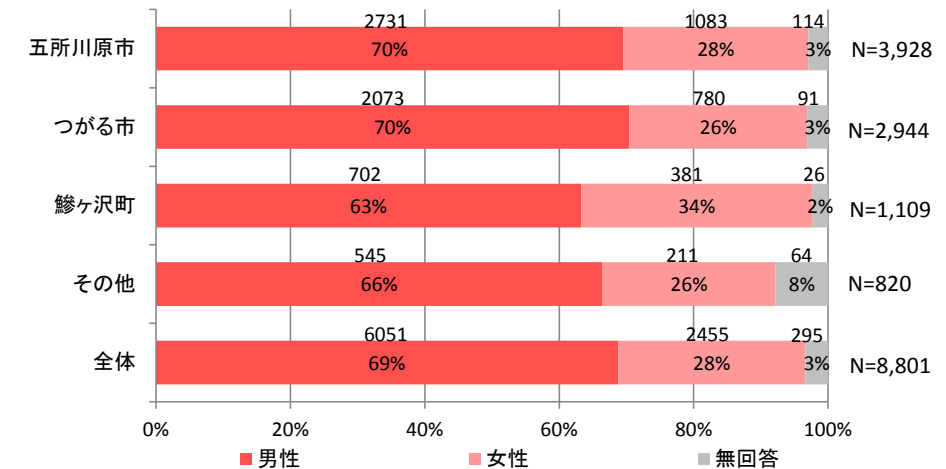
【居住地×年齢】



【居住地×職業】



【居住地×性別】

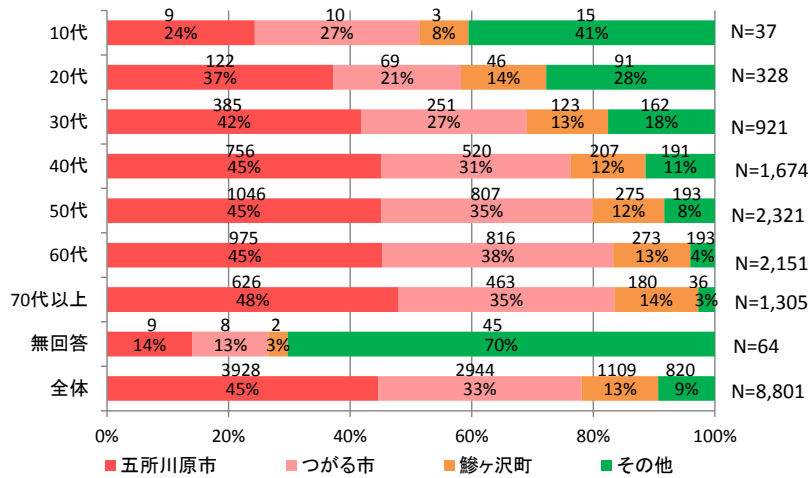


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

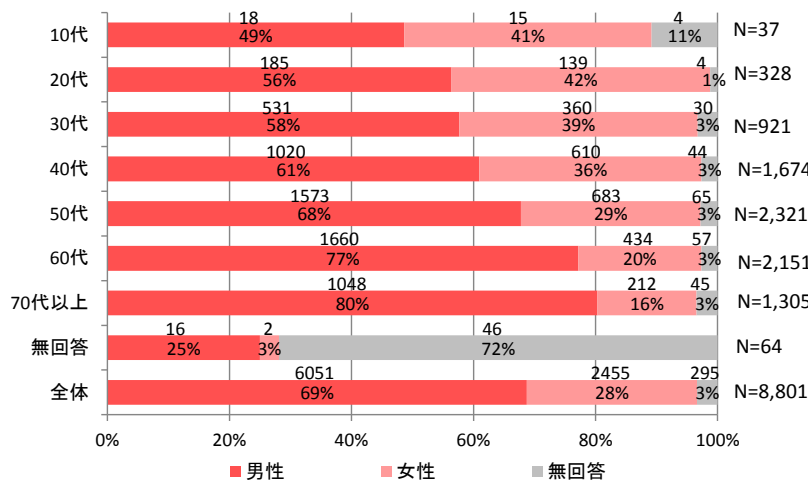
住民アンケート 属性別分析 2 年齢別

- ◆年齢別居住地は、年齢が若いほどその他地域の回答者割合が多い
- ◆20代～50代の4～5割が会社員、60代以上では農業の割合が多くなっている
- ◆年齢が上がるほど女性の割合が少ない

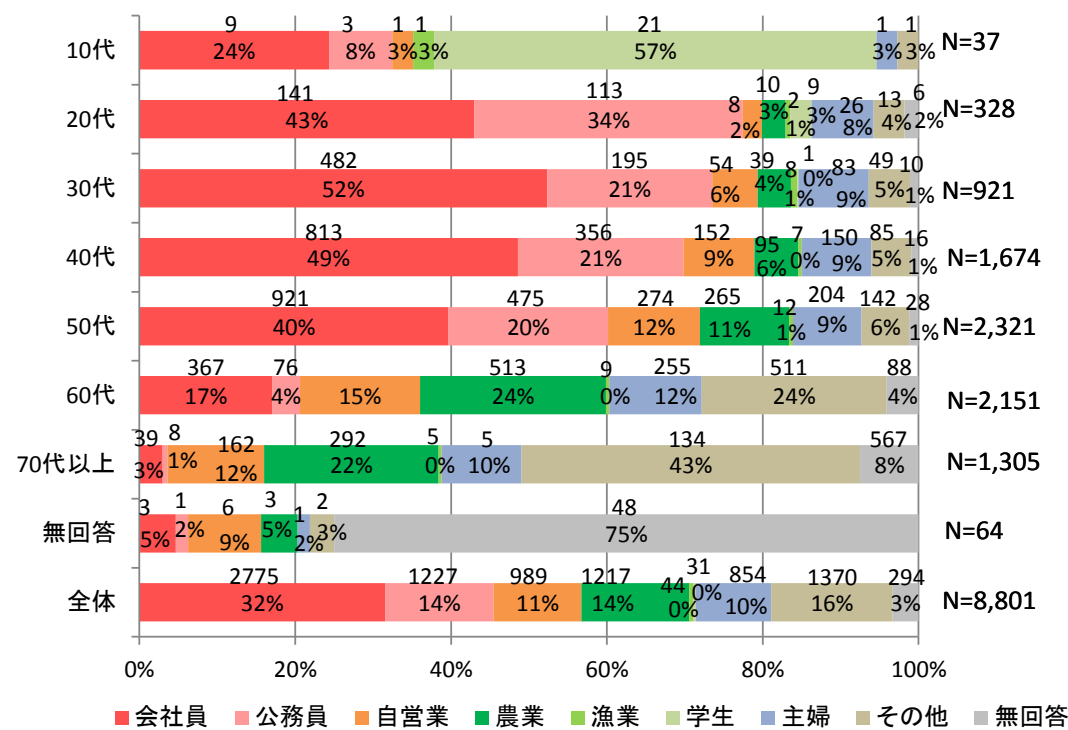
【年齢×居住地】



【年齢×性別】



【年齢×職業】

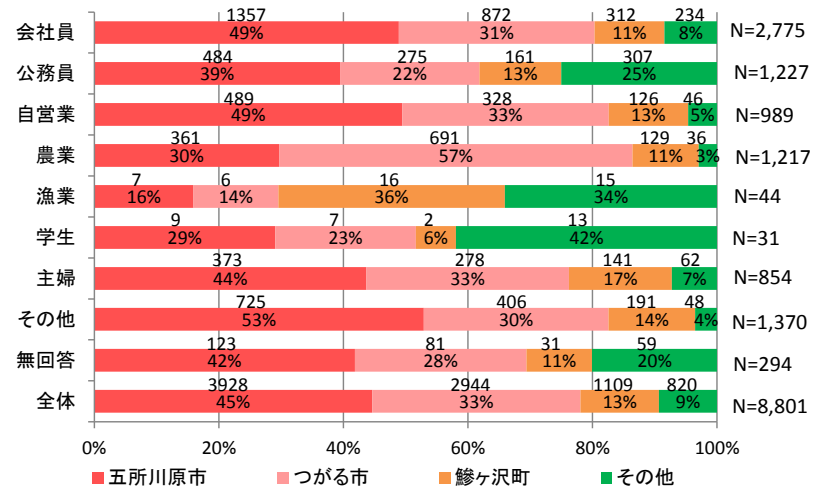


※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

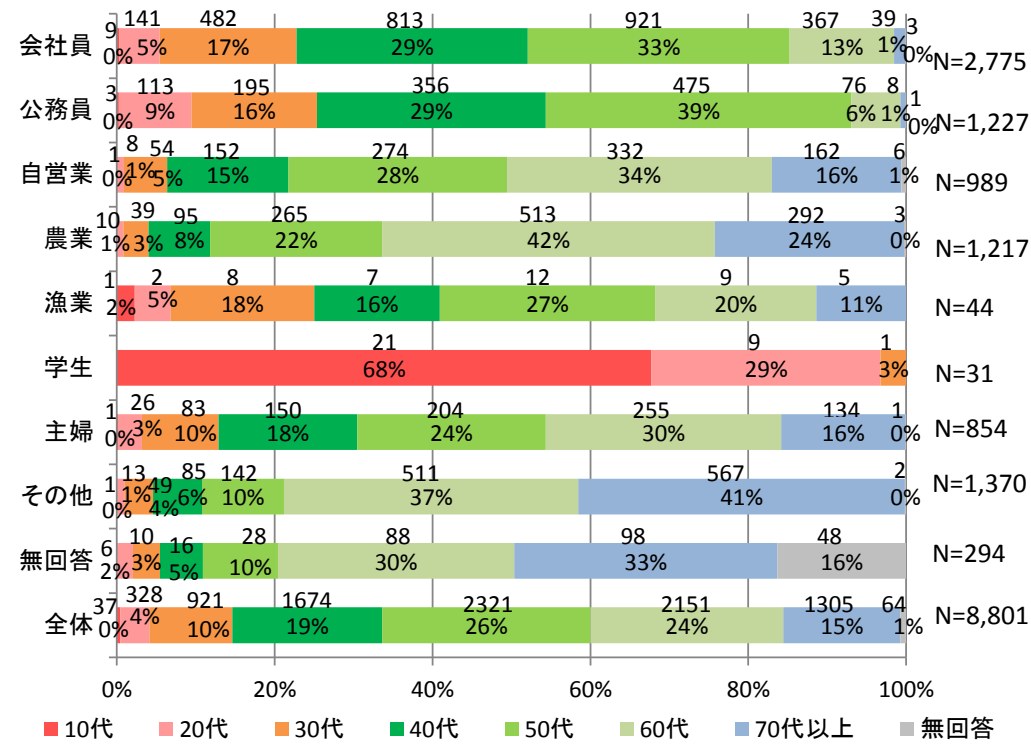
住民アンケート 属性別分析 3 職業別

- ◆職業別居住地は、農業ではつがる市、漁業では鰯ヶ沢町が多く、その他の業種では五所川原市の割合が多い
- ◆職業別年齢は、自営業や農業、主婦で50代以上の割合が多い
- ◆職業別性別は、自営業、農業、漁業では8割以上が男性

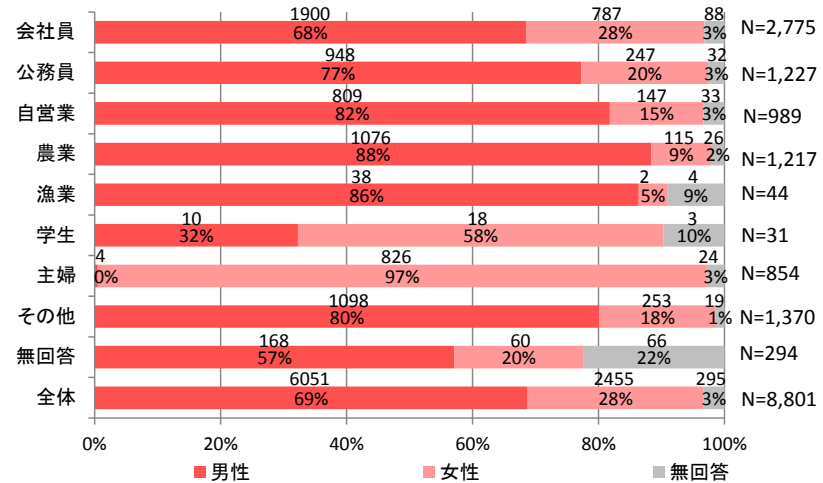
【職業×居住地】



【職業×年齢】



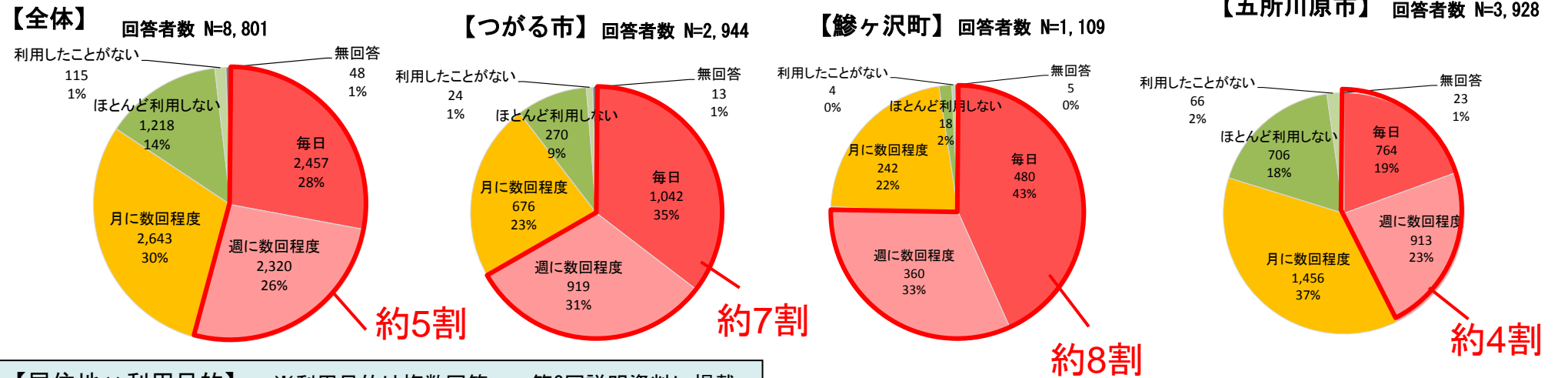
【職業×性別】



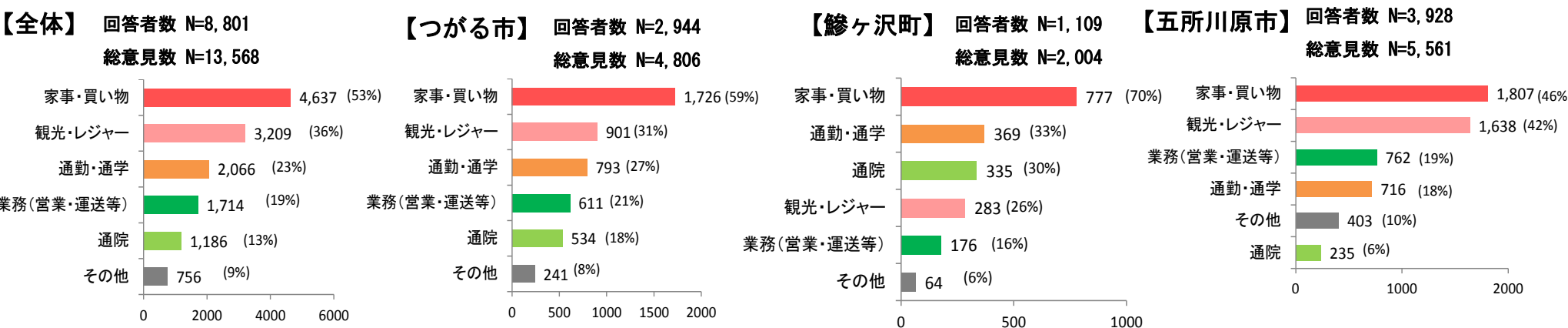
※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

◆居住地別利用頻度は、鱈ヶ沢、つがる市、五所川原市の順に利用頻度が高い
 ◆居住地別利用目的は、「通勤・通学」「通院」「家事・買物」では鱈ヶ沢、つがる市、五所川原市の順に回答の割合が多く、「業務」「観光・レジャー」ではその逆の傾向

【居住地×利用頻度】 ※第2回説明資料に掲載



【居住地×利用目的】 ※利用目的は複数回答 第2回説明資料に掲載

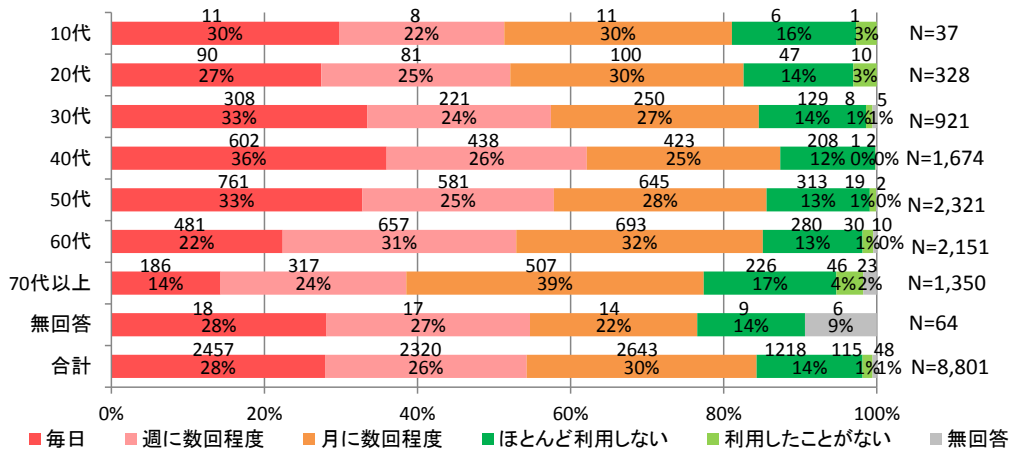


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

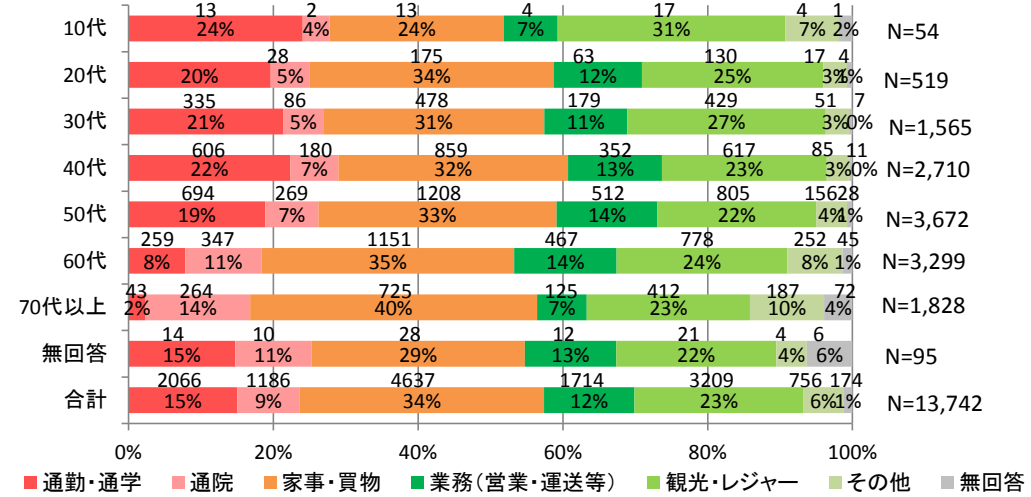
住民アンケート 利用頻度・利用目的別分析 2 年齢別

- ◆年齢別利用頻度では、70代以上の利用頻度がやや低い傾向にあるが、その他はどの年代でも週に数回以上利用するという回答が5~6割と多い
- ◆年齢別利用目的では、60代以上の通院での利用割合が高い

【年齢×利用頻度】



【年齢×利用目的】 ※利用目的は複数回答

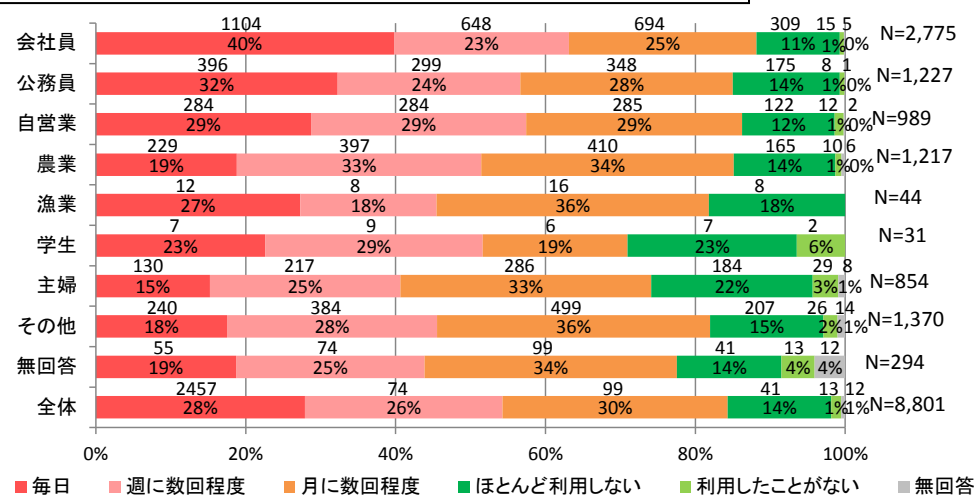


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

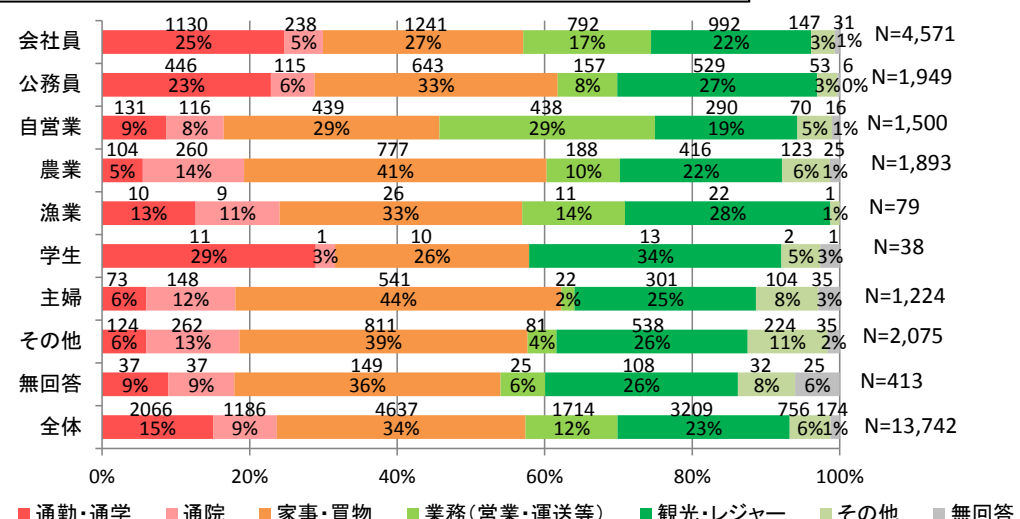
住民アンケート 利用頻度・利用目的別分析 3 職業別

◆利用頻度は、職業間で大きな差はないが、会社員・公務員・自営業などでは週に数回以上利用する人の割合が高い
 ◆利用目的は職業により様々であるが、「家事・買物」では2~4割、「観光・レジャー」では全ての職業で2割程度

【職業 × 利用頻度】



【職業 × 利用目的】 ※利用目的は複数回答

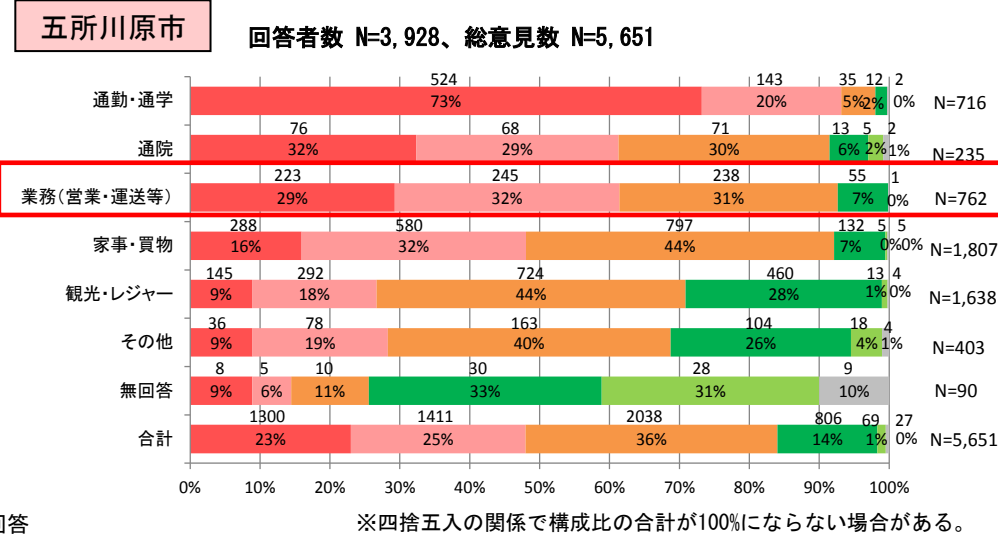
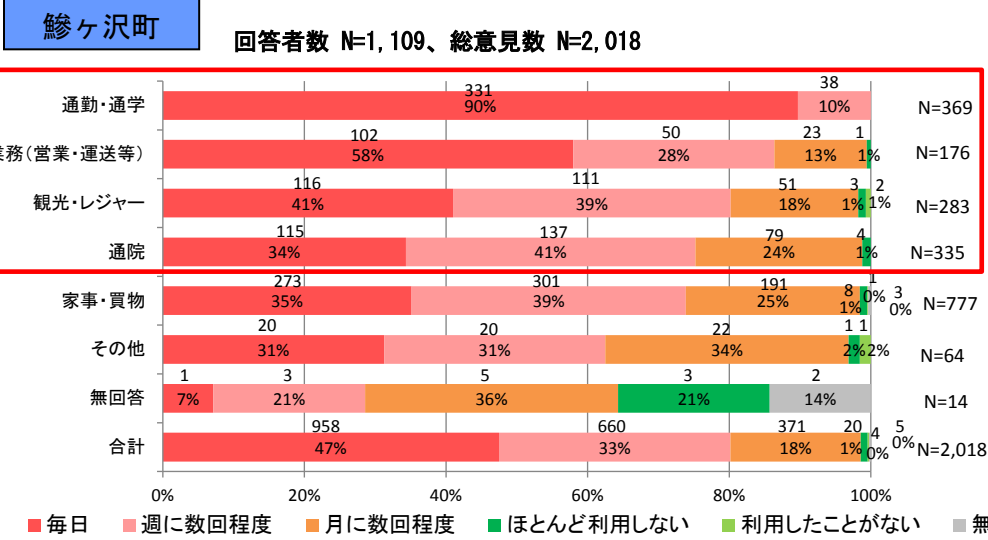
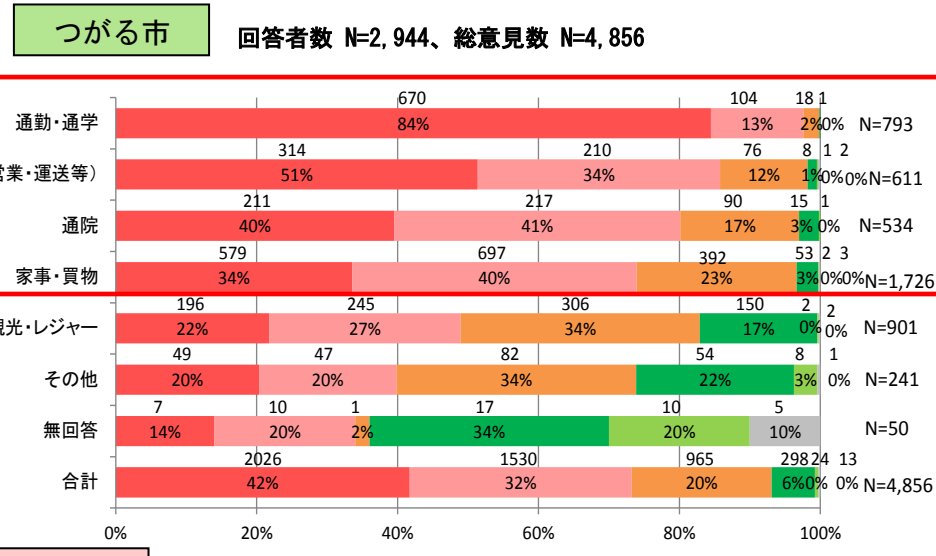
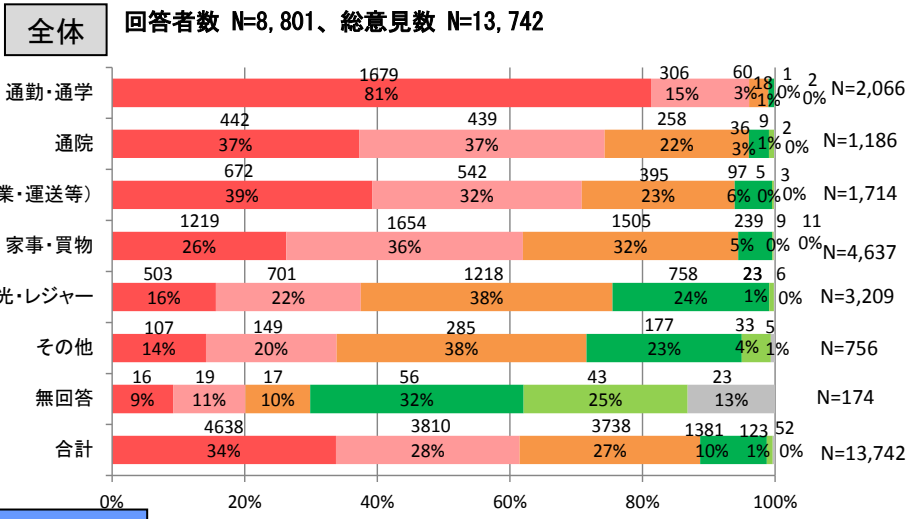


※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

住民アンケート その他集計 利用目的別

- ◆つがる市・鱒ヶ沢町については「通勤・通学」「通院」「家事・買物」などの日常生活に関する利用頻度が非常に高く、国道101号が日常生活交通を支える重要な移動経路となっている
- ◆当該地域の中心都市である五所川原市では、「業務」での利用の約6割が「毎日」「週に数回程度」利用している

【利用目的×利用頻度】 ※利用目的は複数回答 第2回説明資料掲載

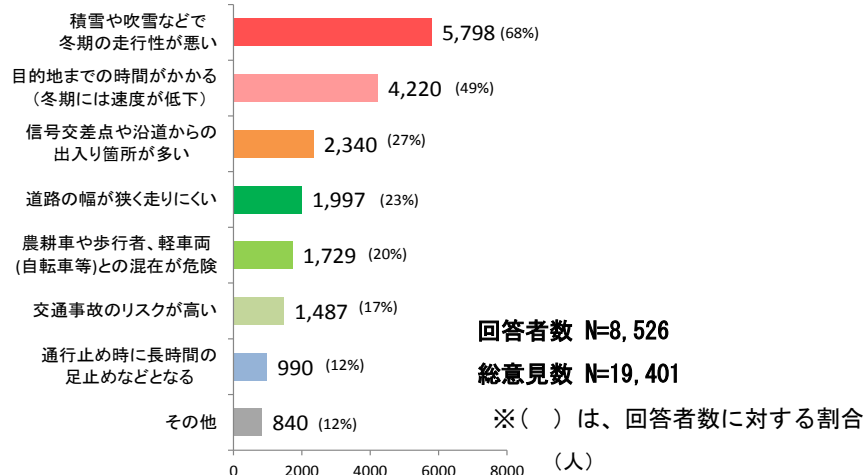


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

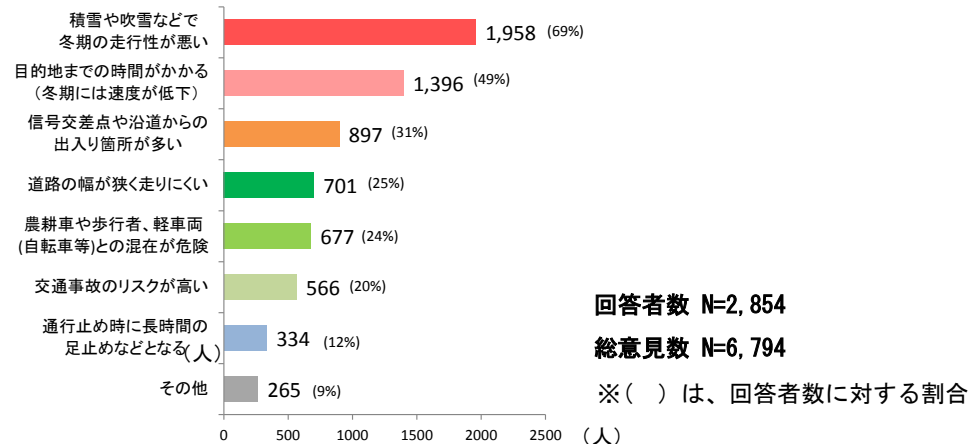
住民アンケート 課題の分析 1 居住地別

- ◆いずれの市町においても、回答項目の順位は同じ傾向である
- ◆鱒ヶ沢町では、「冬期の走行性が悪い」「時間がかかる」の回答の割合が他の2市に比べ多い

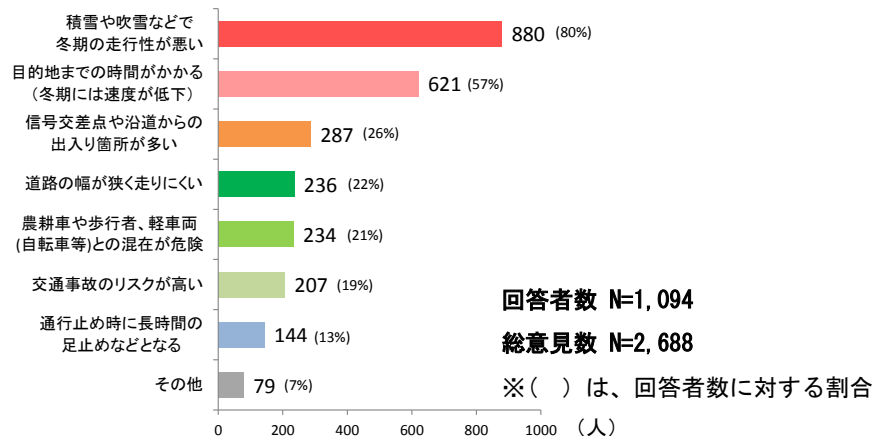
【全体】 ※第2回説明資料に掲載



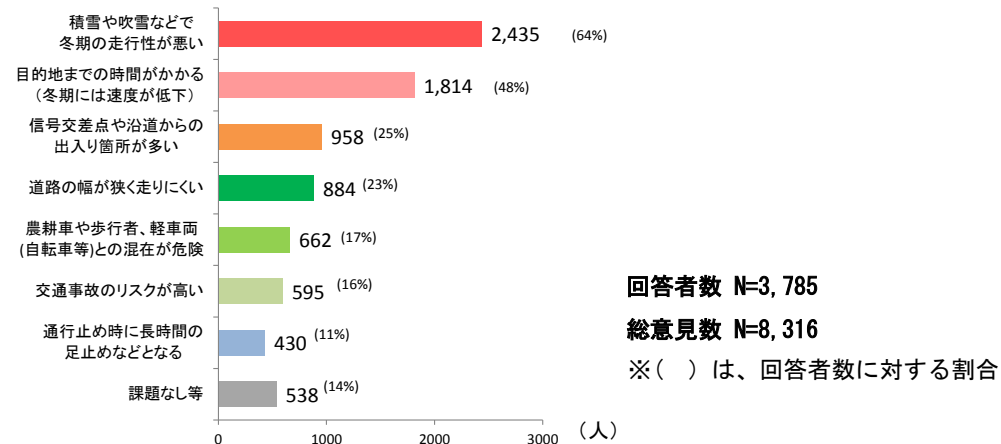
【つがる市】 ※第2回説明資料に掲載



【鱒ヶ沢町】 ※第2回説明資料に掲載



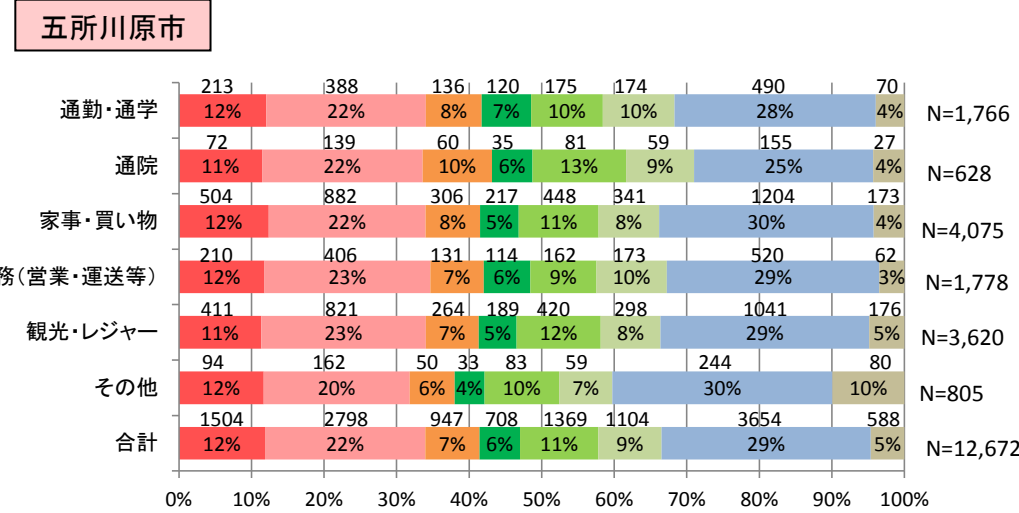
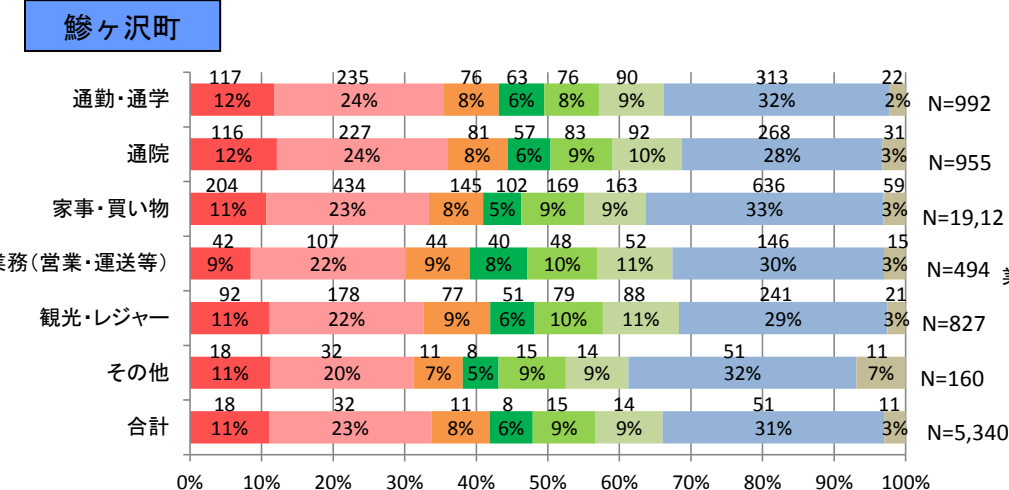
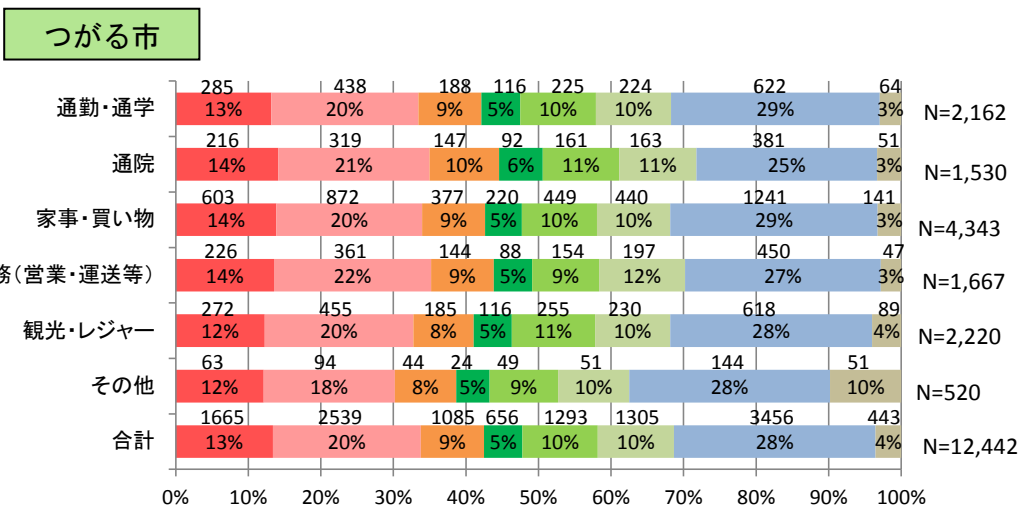
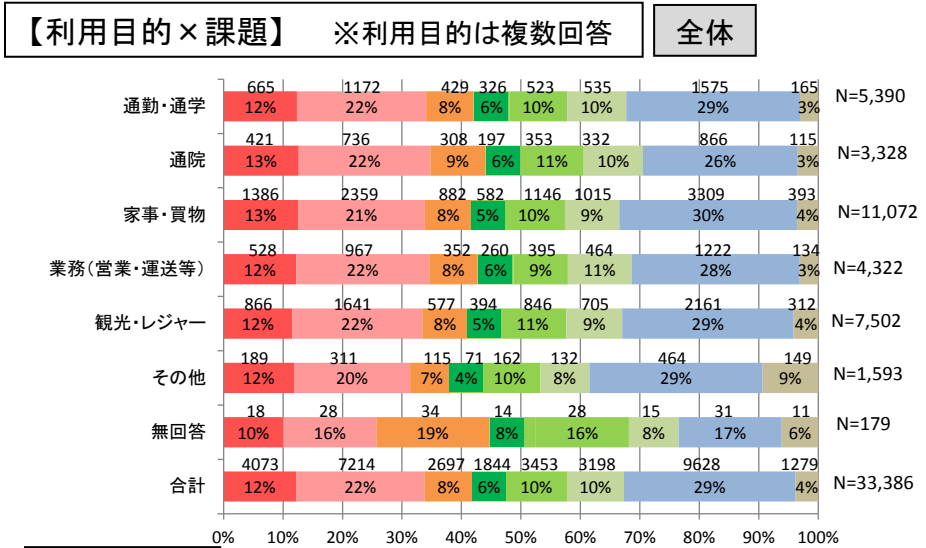
【五所川原市】 ※第2回説明資料に掲載



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

住民アンケート 課題の分析 2 利用目的別

◆ 柏～浮田間に感じている課題に関しては、利用目的による違いは、全体、対象地域の市町ではあまり明確に見られない



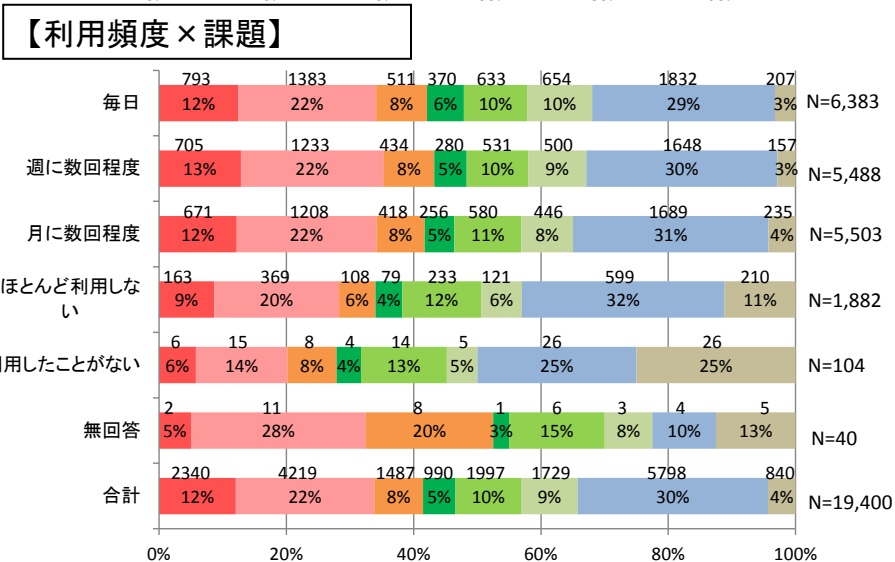
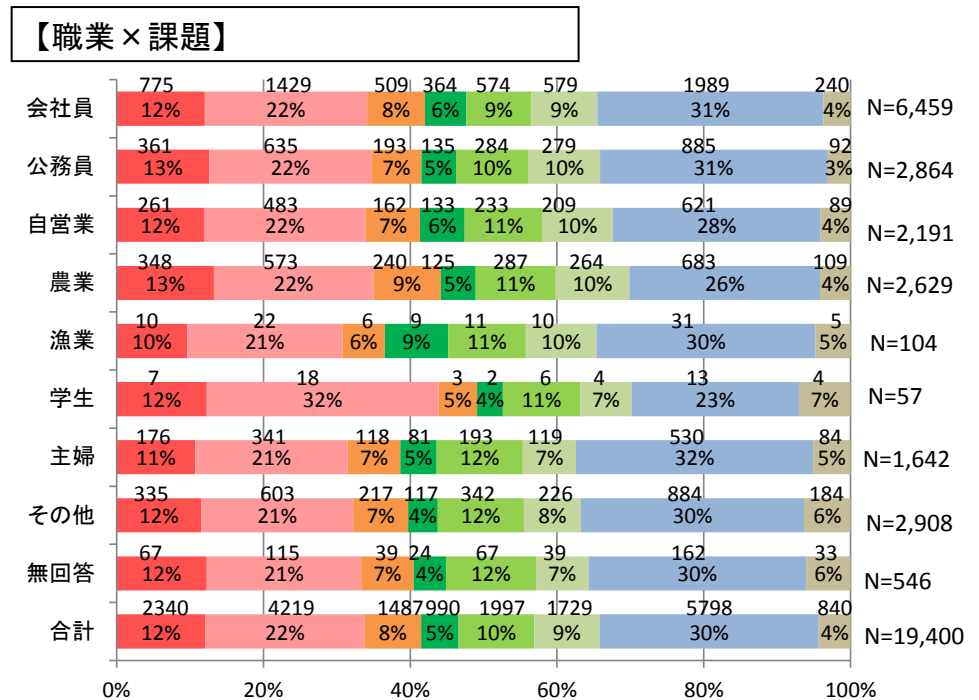
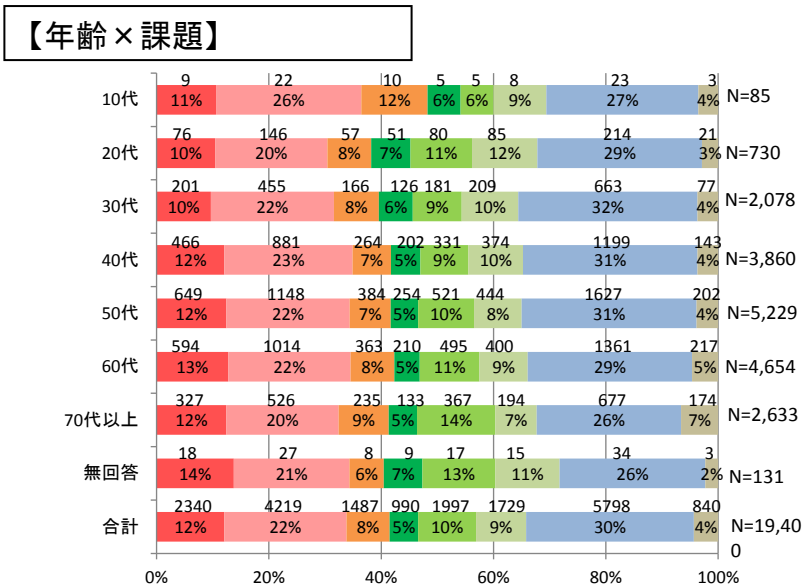
<凡例>

- 冬期影響を受けにくいこと
- 救急病院に早く行けること
- 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
- 通行止めになった時でも代替路を確保できること
- 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
- 観光交流を促進すること
- 交通事故が少なく安全に走行できること
- その他

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

住民アンケート 課題の分析 3 年齢別・職業・利用頻度別

◆ 柏～浮田間に感じている課題に関しては、年齢・職業による違いは明確でない
 ◆ 利用頻度別では、利用したことがない人は時間がかかること、冬期の走行性を課題と挙げる割合が少ない



< 凡例 >

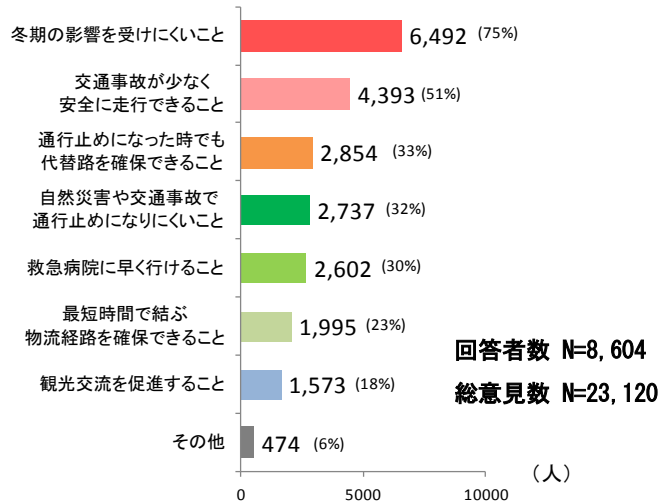
- 信号交差点や沿道からの出入り箇所が多い
- 目的地までの時間がかかる (冬期には速度が低下)
- 交通事故のリスクが高い
- 通行止め時に長時間の足止めなどとなる
- 道路の幅が狭く走りにくい
- 農耕車や歩行者、軽車両(自転車等)との混在が危険
- 積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い
- その他

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

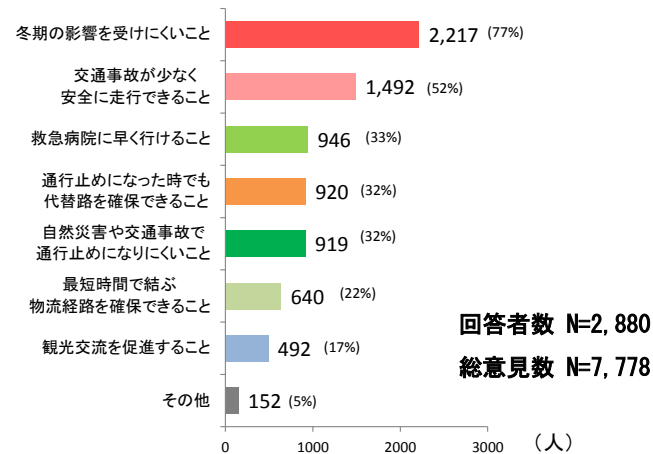
住民アンケート 必要な機能の分析 1 居住地別

◆つがる市・鱒ヶ沢町では、「救急病院に早く行けること」が上位に挙げられている
 ◆鱒ヶ沢町では、「冬期影響を受けにくいこと」が特に高く、8割以上が必要と回答している

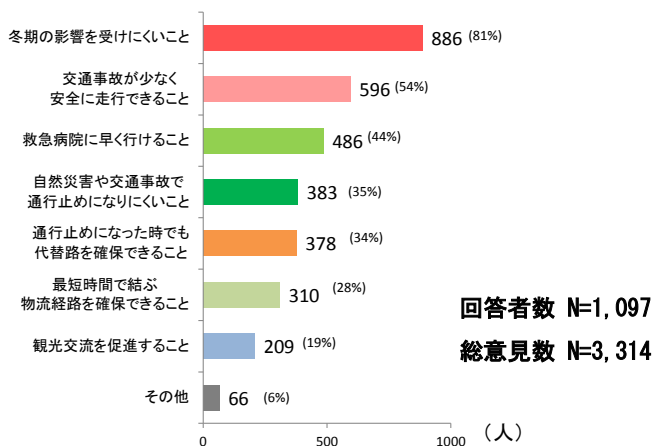
【全体】 ※第2回説明資料に掲載



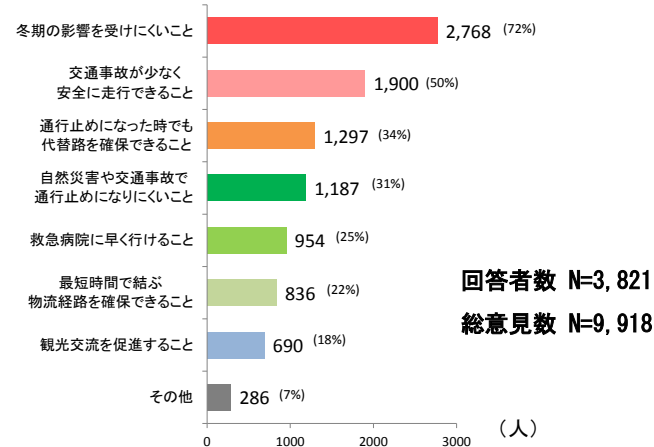
【つがる市】 ※第2回説明資料に掲載



【鱒ヶ沢町】 ※第2回説明資料に掲載



【五所川原市】 ※第2回説明資料に掲載

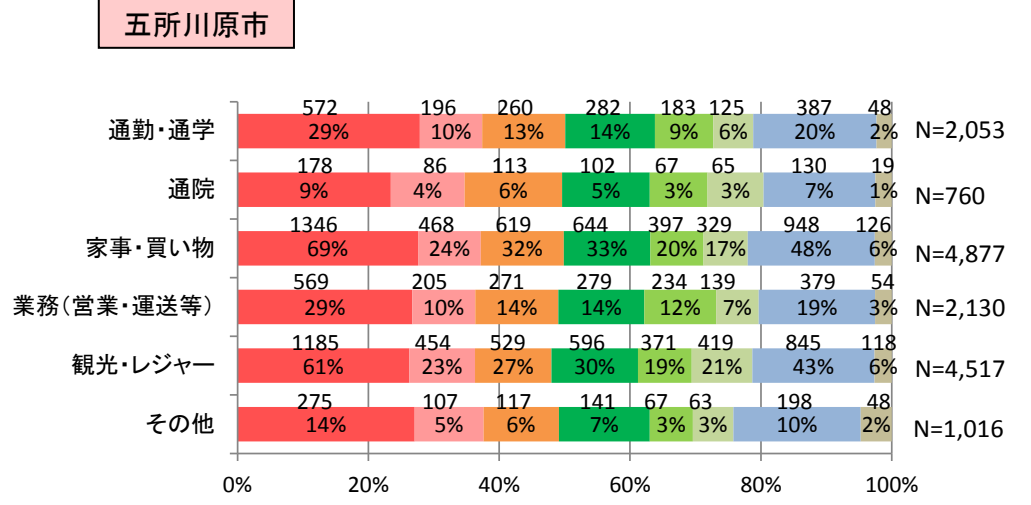
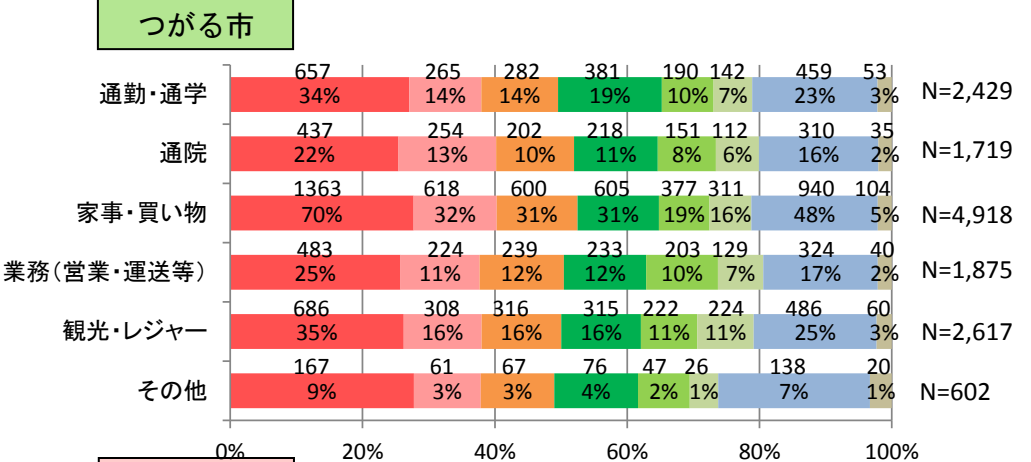
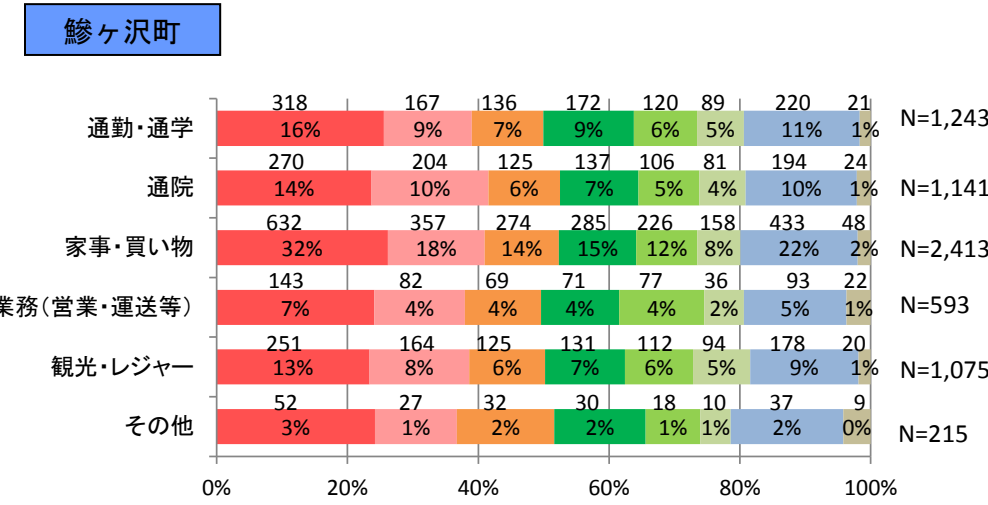
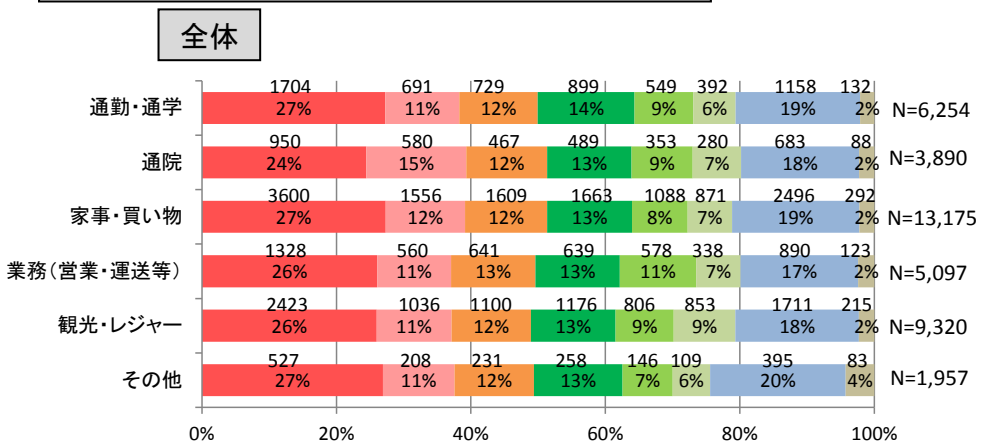


※() は、回答者数に対する割合
 ※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

住民アンケート 必要な機能の分析 2 利用目的別

◆道路に求める機能について、現道の利用目的による差違は、回答者全体、および対象地域の市町では明確な傾向はみられない

【利用目的×機能】 ※利用目的は複数回答

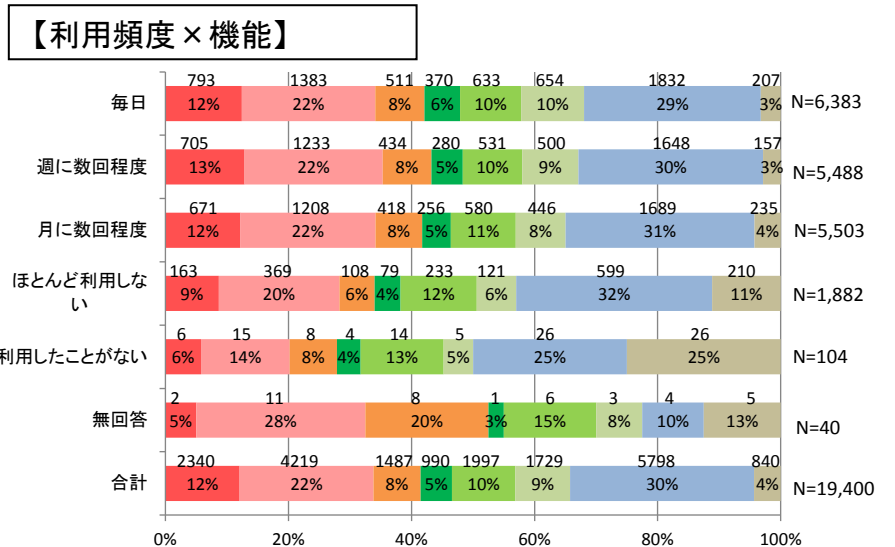
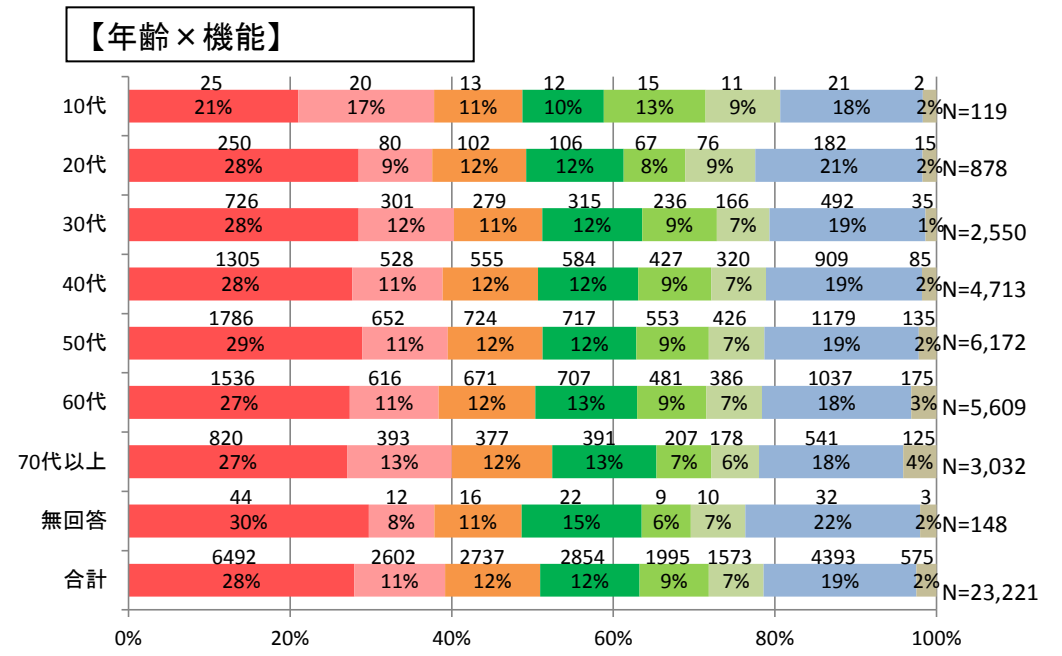
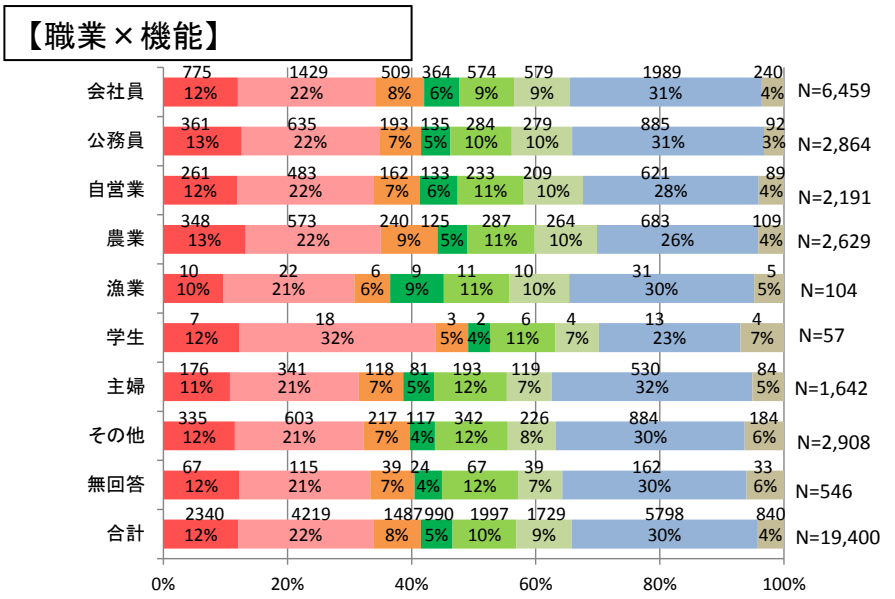


＜凡例＞

- 冬期影響を受けにくいこと
- 救急病院に早く行けること
- 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
- 通行止めになった時でも代替路を確保できること
- 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
- 観光交流を促進すること
- 交通事故が少なく安全に走行できること
- その他

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

◆道路に求める機能について、利用したことがない人は「冬期影響を受けにくいこと」、「安全に走行できること」と答えた割合が少ない。その他には、職業、現道の利用頻度の違いによる求める機能の差はみられない



< 凡例 >

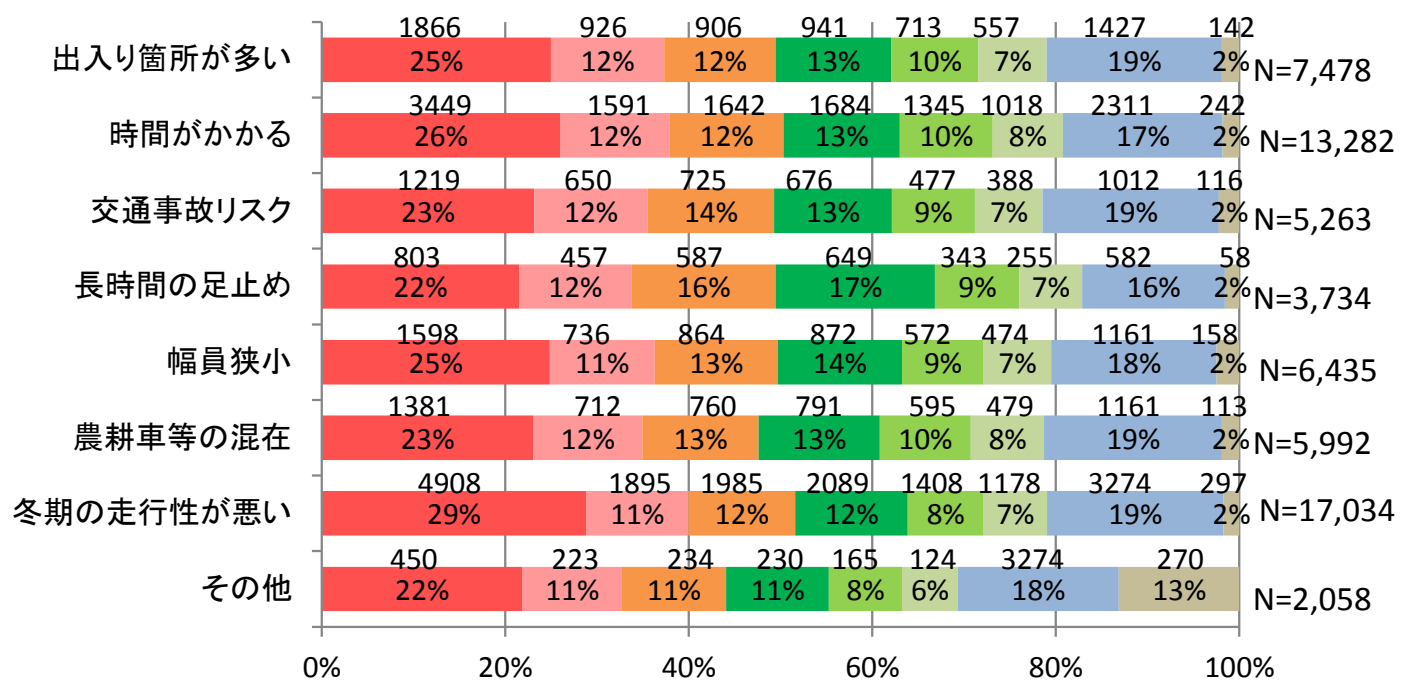
- 冬期影響を受けにくいこと
- 救急病院に早く行けること
- 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
- 通行止めになった時でも代替路を確保できること
- 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
- 観光交流を促進すること
- 交通事故が少なく安全に走行できること
- その他

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

住民アンケート 必要な機能の分析 4 課題別

◆国道101号に感じている課題の回答項目と、必要とする道路の機能の回答項目について、明確な傾向はみられない

【課題×機能】



<凡例>

- 冬期影響を受けにくいこと
- 最短時間で結ぶ物流経路を確保できること
- 救急病院に早く行けること
- 観光交流を促進すること
- 自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと
- 交通事故が少なく安全に走行できること
- 通行止めになった時でも代替路を確保できること
- その他

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。